

市立野洲病院における病院機能向上等の 最近の取組について

【野洲市民病院整備事業 特別委員会 資料】

市立野洲病院

令和6年5月20日

(1) 医師事務作業補助者の増員等による、医師のサポート体制の充実

2024年に始まった**医師の働き方改革**に対応することを目的として、令和5（2023）年度より、従来から設置していた「**事務サポート**」に加え、外来診療における「**診療サポート**」を開始した。

また、令和6（2024）年度にはこれら**医師事務作業補助者を増員**し、医師の業務負担の軽減と患者対応の向上に取り組んでいる。

従「事務サポート」・・・診断書や主治医意見書などの書類作成を支援

新「診療サポート」・・・代行入力やデータ登録などの診察・診療にかかる支援

(2) 紹介（転院・外来・検査など）患者専用受付窓口の設置

他病院や地域の診療所から安心して紹介いただけるよう、紹介状持参の患者（診察・検査、入（転）院）さんを、診察、各種検査または入院まで円滑にご案内する**専用受付窓口**を設置した。

トピックス！

県立総合病院との連携強化をさらに拡大・推進

令和5年11月に、滋賀県立総合病院に救急搬送されて初期診療を終えられた整形疾患の患者について、受け入れる体制を構築した。

また、令和6年度の診療報酬改訂において、転院搬送が拡大・推進される流れを踏まえ、従来の基本協定にその旨を具体的に明言し、連携を強固にしている。



(3) 入院サポートカーの導入

在宅医療支援を目的として、令和5年度から導入。

高齢化に伴い、独居老人・老々介護や認認介護が増加している。
かかりつけ医により入院が必要と判断された方、地域包括支援センターやケアマネジャーなどが訪問した際に入院加療の必要があると判断された方などで、**来院する移動手段のない方**を対象に、ご自宅又は診療所などへ赴いて、当院までの送迎を行う。

[救急車タイプ]

*緊急走行はしません。



[軽自動車タイプ]



野洲市の高齢化率

R2.4.1・・・25.98%
R3.4.1・・・26.50%
R4.4.1・・・26.74%
R5.4.1・・・26.79%
R6.4.1・・・26.98%

- 救急車を手配する必要まではないが、早めの受診が必要だと思われる方
- 当院までの移動手段がない方(親族が遠方であるなど)
- 入院加療(レスパイト含む)の予定または見込まれる方

(4) リハビリテーション機能の強化・充実

令和6年4月より、リハビリテーション専門医（常勤）が着任

◆外来機能の充実

通院リハビリテーションを対象とする患者に対し、通院時に必ず**リハビリテーション専門医の診察**を受け、セラピストによるリハビリテーションを提供する体制を構築。

◆入院機能の充実

新病院での**回復期リハビリテーション病棟（50床）**を見据え、回復期リハビリテーション病棟以外の病棟において、集中的なリハビリテーションを必要とする患者の受入を拡充（14床程度）